

使用上の注意改訂のお知らせ

2017年3月 (No.2016-18)

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

●劇薬、処方箋医薬品

グリメピリド錠 0.5mg「三和」

グリメピリド錠 1mg「三和」

グリメピリド錠 3mg「三和」

GLIMEPIRIDE

(日本薬局方グリメピリド錠)

経口血糖降下剤

●劇薬、処方箋医薬品

グリベンクラミド錠 1.25mg「三和」

グリベンクラミド錠 2.5mg「三和」

GLIBENCLAMIDE

(グリベンクラミド錠)

製造販売元
株式会社 三和化学研究所
SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631

この度、標記製品の「使用上の注意」を一部改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。つきましては改訂箇所を一覧に致しましたので、今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

今後とも弊社製品のご使用にあたって副作用・感染症等をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容(下線部、取消線部: 自主改訂)

改 訂 後		改 訂 前	
3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) 1)血糖降下作用を増強する薬剤		3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) 1)血糖降下作用を増強する薬剤	
薬剤名等	作用機序	薬剤名等	作用機序
削除		ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制
プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制[これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]	プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制[これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]
アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム ナブメトン 等		アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム ナブメトン 等	
オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等		オキシカム系消炎剤 テノキシカム	

2. 改訂理由

[相互作用]の[併用注意]の項

ケトフェニルブタゾンは、現在国内において製造販売されていないことから記載を削除しました。また、テノキシカムについても同様に製造販売されていないことから、同じオキシカム系消炎剤であるロルノキシカムに記載整備しました。

〔お問い合わせ先〕

株式会社三和化学研究所 コンタクトセンター

電話0120-19-8130

受付時間:月～金曜日 9:00～17:00

(祝日及び弊社休業日を除く)

ホームページ <http://www.sk-net.com>